

「振り込め」防止
立て看板を寄贈

栃木の企業経営者

【栃木】栃木署(大野繁署長)はこのほど、振り込め詐欺撲滅運動PR用の看板四十枚を寄贈した川原田町の「五月女総合プロダクト」の五月女博勇会長(六五)と五月女善重代表取締役(四三)に感謝状を贈った。

同社は川原田町でスポーツジムなどを経営。社会貢献のため地域安全に役立つものを贈りたいと同署に申し出た。同署管内では二〇〇八年に振り込め詐欺の被害が県内で二番目に多かったことから、被害防止を呼び掛ける看板にしたという。

五月女会長は「ジム利用の中高年会員からも振り込め詐欺らしい電話がかかってきたなどと聞く。看板でせめて注意を促したい」と話している。

看板は一枚が縦百八十センチ、横三十八センチの大きさ。管内の交番・駐在所、福祉施設などに設置した。